

《スローガン》 **親子で読書 深める絆** ～本を読む子は かならず伸びる～

- ▶ 山形県 P T A では、親も子どもと一緒に読書に親しみ、家庭に読書文化の礎を築くために親子読書を推進しています。
- ▶ 親も子ども共に読書に親しむことで、親子のコミュニケーションを活発にし、子どもも親も心が豊かになり、絆が深まることと思います。
- ▶ 読書習慣が子どもの学力をアップします。読書習慣は文章を読み解く力と密接に関係しているのです。



子どもが育つ時間はあっという間。けんかをしたり、叱られたり、いろいろあっても、親子で絵本に浸る時間は優しく気持ちを解きほぐしてくれます。…  
読み聞かせは「愛の時間」なのです。 (学校図書館アドバイザー：五十嵐絹子)

「子どもが親と読みたい一冊」「親が子どもに伝えたい一冊」  
「親子で読み合いたい一冊」



応募ありがとうございました！

平成 27 年度 「親子読書」図書券当選者

### 《小学校の部》

- ・尾花沢小 菅野佑介さん
- ・大塚小 長谷川奈々美さん
- ・小国小 塚原蒼月さん
- ・田沢小 安田華澄さん
- ・山口小 滝口あゆ海さん

### 《中学校の部》

- ・山九中 成澤亜衣さん
- ・葉山中 奥山南稀さん
- ・葉山中 石川 舞さん
- ・飯豊中 佐藤侑希さん
- ・葉山中 片桐さえさん

### 《親・教師の部》

- ・小国小 新澤 俊さん
- ・泉小 後藤厚子さん
- ・葉山中 海老名喜代江さん
- ・荒谷小 羽澤陽子さん
- ・常盤小 上野凜さん (保護者)

学校を通して図書券を贈呈いたします。

※小・中・親教師、それぞれの応募者の中から 5 名ずつ抽選での当選となります。

**親子で読書 深める絆**  
本を読む子は かならず伸びる

山形県 PTA 連合会では、親子読書とおして生涯学習を進め、親子で学び、親子のコミュニケーションの活性化により、親子の絆が一層深まり、子どもの学力も向上することを願い、この運動を推進します。

平成 27 年度の取り組み

<p>毎月第 3 日曜日(家庭の日)は、「親子読書の日」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ PTA の研修会や教育懇話会でも親子読書を議題にしましょう。</li> <li>▶ 親子で近くの図書館に行きましょう。</li> <li>▶ 「親子読書の日」三原則           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 20 分間は子どもを決めてゆっくり読書</li> <li>・ 家の人みんなで楽しい読書</li> <li>・ 読書ではじまる親子のコミュニケーション</li> </ul> </li> </ul>	<p>親子読書にチャレンジする PTA を応援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 頑張っています PTA / 例           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ PTA による学校図書館の図書整理 / PTA で読書会や読書日(学校図書整理)を実施 / 読み聞かせボランティア / 親子読書リレー / 親子読書会 / ノーゲーム / ノーテレビで読書の時間 / 親子で図書館に出かける日を指定 等々</li> </ul> </li> </ul>
---	---

「子どもが親と読みたい一冊」「親が子どもに伝えたい一冊」「親子で読み合いたい一冊」

- ▶ 募集期間 第一次募集 平成 27 年 7 月 1 日から 7 月 31 日まで  
第二次募集 平成 27 年 9 月 1 日から 9 月 30 日まで
- ▶ 対 象 小学校・中学校の子ども、保護者、教職員
- ▶ 送 り 先 山形県 PTA 連合会事務局 (裏面様式による)

【郵便】〒990-0031 山形市十日町 1-6-6 山形県保健福祉センター内  
【FAX】023-635-4359 【E-mail】info@ymgt-pta.jp

## 【お知らせ】

応募いただいた“書籍・推薦文(推薦の理由)”を山形県 P T A 連合会のホームページにアップいたします。是非ご覧下さい！

ホームページ <http://www.ymgt-pta.jp>

## 親子読書活動紹介 《置賜地区》

### 本が大好きな子どもを育てるために

米沢市立北部小学校 P T A

#### 1 読み聞かせの取組

子どもたちを本に親しませるために、P T A 母親委員会が中心となり「ブックママによる読み聞かせ」に取り組んでいます。年間8回の読み聞かせの日には、卒業生の保護者や地域の方にも協力していただき、全てのクラスで素敵な時間が流れています。子どもたちが心から楽しみにしている取組になっています。

#### 2 親子で「ノーメディア・アウトメディア」の取組

学校と家庭が協力しながら「ノーメディア・アウトメディアウィーク」の取組を進めています。実施後の感想の中で、メディアから離れた時間の活用方法として「親子で読書をする」という取組が紹介されました。本を真ん中にして親子のコミュニケーションをさらに深める素敵な工夫として多くの家庭に広がっています。

#### 3 親子読書の取組

「秋の夜長」の時期、学校の読書月間に合わせて「親子読書」の取組を進めています。2週間の期間中は、一人2冊ずつ本を貸し出していただき、親子でじっくりと本に親しめるようにしています。終了後の感想の中には「親子の話題が広がった」「親子のかかわりを耕す取組である」「読書月間以外の時期にも取り組みたい」など前向きなものがたくさんありました。



## 親子読書活動紹介 《庄内地区》

### 鶴岡市立羽黒第三小学校 親子読書の活動について

母親委員会委員長 小鷹 望

学校に隣接する広瀬地区地域活動センターの図書室、児童図書を有効に活用させていただいています。また、各学年から2名ずつの母親委員が選出されており、朝読書の時間に「親子読書」の活動をしています。

#### 【広瀬地区地域活動センターで本の貸し出し】



普段借りている学校の図書の本とは違う地域活動センターの本に触れる機会です。バザーの売り上げで新書を増やしています。

#### 【学校での紙芝居、本の読み聞かせ】

朝読書のわずかな時間を利用した読み聞かせ。子どもたちも食い入るように、真剣に聞いてくれました。



## 親子読書活動紹介 《村山地区》

### 「親子読書への取り組み」

天童市立荒谷小学校 子育て支援委員長 山川 恭子

平成27年度荒谷小学校のPTA重点運動として、「親子あったか運動」と「親子読書」を掲げております。「親子読書」に取り組み、読書をきっかけとした親子のコミュニケーション作りをしていきたいと考えております。

子どもの年齢に応じて、各学年で工夫しながら取り組んでいくこととし、年度初めに活動内容等を話し合い、1年間を通して活動していけるようスタート致しました。

親が子どもに読み聞かせたり、同じ本を親子で読んだり、子どもが親に読んでほしい本を選び親が子どもに読みたい本を選んだりしてそれぞれの感想を話し合う等「読書」をきっかけとして、親子のコミュニケーションを深めることを推進しております。

それぞれの取り組みを学年行事で発表したり、毎日の生活カード等で取り組んだり、各々の学年に合ったやり方で活動を継続していこうと考えております。「親子あったか運動」で取り組んでいる「アウトメディア運動」と連動し、テレビやゲームから離れた時間を「読書」にあててくださる家庭も多くございます。



多忙な日常生活の中で、子どもとゆっくり向き合う時間が取れない家庭でも、この活動をきっかけに、少しでも親子で同じ時間を共有することができ、子どもも親も心にゆとりが持てればと思います。

小学校に入り自分で本を読めるようになって、親子で一緒に読んだ時のうれしそうなお子さんの顔を見ると、これからも続けていきたいと痛切に感じております。今後も学校・家庭で連携し継続して取り組んで参りたいと思います。

## 親子読書活動紹介 《最北地区》

### 市を挙げての読書への取り組み ～読書シティむらやま～の実践

村山市立楯岡中学校 教頭 小野 博史

#### 1 村山市の取り組み

村山市は平成22年10月に、全国の自治体としてはたいへん珍しい『読書シティむらやま宣言』を掲げた。市全体で読書に取り組もうというものである。その中で小中学生にかかわる代表的な取り組みが、「はじめの1冊」と「飛躍の一冊」である。「はじめの1冊」は小学1年生全員に、「飛躍の1冊」は中学1年生全員に対して、1人に1冊ずつ本をプレゼントしている。贈る本はリストの中から子どもたちが選んだもので、本を選ぶ段階から読書への関心を高める取り組みになっている。また、親子読書に向けた取り組みも行っている。

妊娠中の女性を対象にした『プレママの絵本教室』で、生まれてくる赤ちゃんのためにオリジナル絵本を手作りすることで、親子で本に親しむきっかけ作りとなっている。

#### 2 成果

村山市の小中学生の読書量の目安として、学校図書館の1人あたりの貸出冊数に着目してみた。全国的なデータが見つからなかったため、インターネット上で見つけた他の自治体と比較してみると、下の表のように格段に多いことがわかった。各学校やPTAとしての独自の取り組みの積み重ねもあるだろうが、読書シティとしての取り組みが大きく功を奏していることが推測される数字である。

学校種	村山市	仙台市	金沢市	宝塚市	北広島市
小学校	194.2	32.4	60.5	41.9	24.1
中学校	37.4	6.2	8.9	3.8	5.5



平成23年度から平成27年度までの5年間にわたる応募の中から、親・教師・子どもがそれぞれ推薦して下さった書籍“ベスト3”を紹介します。家族で一緒に読み合ってはいかがでしょう。

## 「親が子どもに伝えたい一冊」ベスト3



### 第1位 『泣いた赤おに』 浜田 広介 著

本当の優しさとは何か、友情とは何か、深く考えさせられます。親から子へ、子から…と伝えていきたい童話です。



### 第2位 『赤毛のアン』 L・M モンゴメリ 著

想像力豊かなアンの世界に入り込んで楽しんでもらいたいステキな本です。明るく元気でいつも前向きに生きるアンから勇気をもらえます。



### 第2位 『100万回生きたねこ』 さのようこ 著

100万回も死んで100万回も生きたねこのお話です。私たちに、誰かを愛せることは幸せなことだと教えてくれる一冊です。



### 第3位 『かわいそうなぞう』 つちやゆきお 著

戦争時代の悲しい話ですが、戦争を知らない親や子どもたちが真実をもっと知るきっかけとなる本。子どもと平和について考えたい一冊です。

## 「子どもが親と読みたい一冊」ベスト3



### 第1位

『かあちゃん取扱説明書』

著者 いとうみく



### 第3位

『おおかみこどもの雨と雪』

著者 細田 守



### 第2位

『泣いた赤おに』

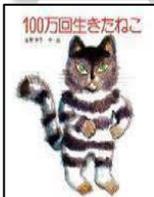
著者 浜田 広介



### 第3位

『おまえうまそうだな』

著者 宮西 達也



### 第2位

『100万回生きたねこ』

著者 さのようこ



### 第3位

『犬と私の10の約束』

著者 川口 晴